

私の大学院受験経験

白盛嘉

白盛嘉と申します。中国陝西省西安市から参りました。大学卒業してすぐ日本にいらっしゃった皆さんと異なって、自分は2010年大学を卒業して、国内で4年間働いていました。故郷の政府機関の契約社員として勤めていたのですが、自分の将来への不安と職場への不満のため、仕事をやめて、海外留学に行ってキャリアアップしたいと考えようになりました。友達の紹介で、亜細亜友之会外語学院のことを知り、自分で学校とコンタクトを取って、2014年1月日本に留学することを実現できました。

日本語学校に入学した当初、他のクラスメイトより5歳位年上で、その上に、社会人だった自分はもう何年も教科書に向かって勉強したことないので、日本語の勉強に慣れるまで大変でした。他の人よりもっと時間を掛けないと、皆に追いつかないと思って、殆どアルバイトもせずに、毎日自習室で勉強していました。

大学では数学教育専攻で勉強していたけれども、キャリアアップのため、もっと実用的な専攻に転向しようと考えていました。いろいろ考えた末に、自分の数学の知識と仕事の経験を活かせる経営専門職の大学院を目指すことにしました。日本語授業以外の時間に、経営学専門知識の授業にも参加し、経営学を基礎から学び始めました。最初は全く自信がなかったが、勉強しているうちに、少しずつ分かるようになってきて自信が付いてきました。

日本語学校の二年目は、私にとって受験戦争の一年でした。毎週、先生とアポイントメントを取って、研究計画書・志望理由書などの出願書類を何回も何回も添削して頂きました。合格する自信がないから、5校位出願しようと考えていました。それぞれの学校出願資料が異なるので、書類を揃えるだけで大変苦労しました。しかし、先生方は全く嫌な顔をせずに、5校の資料を全部丁寧にチェックしてくださいました。

試験前の一ヶ月の中に、ほぼ全員の先生方に面接練習をして頂きました。最初の時は緊張して何も喋れなかった私もだんだん慣れてきて、自分の意見と考えを流暢に言えるようになりました。面接本番中、学校の面接練習の時に聞かれた質問と同じ質問をされて、本当に嬉しかったです。

先生方のご指導のおかげで、法政大学大学院経営学研究科と早稲田大学政治学研究科に合格できました。日本の名門校に進学するという夢が叶いました。最後に、亜細亜友之会外語学院の先生方にもう一度感謝を申し上げたいと思います。本当にお世話になりました。